

がん化学療法処方

プロトコール名： 大腸癌Bmab+FOLFOXIRI療法(1クール14日)
(下に実際の投与方法を記載)

投与日	薬品名	投与経路	投与時間
d1	① 生理食塩液 50mL(プライミング用)	div	-
	② ベバシズマブBS点滴静注5mg/kg+生理食塩液100mL 初回は90分投与 2回目以降は問題なければ60分投与可能 さらに問題なければ30分投与可能	div	90分
	③ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
	④ パロノセトロン静注0.75mg+デキサート注射液6.6mg+5%ブドウ糖液50mL	div	15分
	⑤ トポテシン注 165mg/m ² + 5%ブドウ糖液250mL	div	60分
	⑥ レボホリナート点滴静注 200mg/m ² + 5%ブドウ糖液250mL	div	120分
	⑦ エルプラット点滴静注液 85mg/m ² + 5%ブドウ糖液250mL レボホリナートとエルプラットは同時に滴下開始	div	120分
	⑧ 5%ブドウ糖液50mL(フラッシュ用)	div	5分
	⑨ フルオロウラシル注 3,200mg/m ² + 5%ブドウ糖液130mL 携帯用ポンプで全量130mlに調製	div	48時間

d1 アプレピタントカプセル 125mg
抗がん薬投与の1時間~1時間半前に内服

プロトコール適応時表示コメント

最大12コースまでとする。

照射併用時照射線量

グレイ (備考欄)